

22,11.3明治神宮演武会



写真素材が
少ないので
集合写真は
2014年の
明治神宮演武
大会時

11月3日 文化の日、古くは天長節、明治神宮の祭神 明治天皇の誕生本年は150年に当る、又晴天の特異日でもある。朝から空は限りなく晴れ どこまでも青く澄み渡っている。 日本古武道振興会が主催する 古武道大会は、コロナ禍の影響で令和2年度は中止、3年度は東京在籍の3流派のみの演武で終わっただけ。

3年振りの開催となった今回、南は九州熊本から関口流・タイ捨流、北は東北宮城から柳生心眼流 等々 51流派280余名の武人が集まった。

弓道千人射手、合気道、流鏑馬、当古武道は無観客で、東京農大の収穫感謝祭とそれとともなう出店は中止。

いつもより静かな神宮の杜であった。 正午前に田宮流は宗家を正面前列に小野氏、吉池氏は2列目、3列目に三宅氏と私が並ぶ。

稲妻・押抜・除身・廻掛・胸之刀・柄外・突留・追立の8本を前3名は基本通りに、三宅氏と私は座居合を立居合に改め『追立』を立技の『松風』に変えての奉納演武となった。 無観客ではあったが、いつもより疲労感が強かったのは、久しぶりの緊張か？それとも齢のせいかな？

持参したキャンプ用チャアの背凭れに身体を委ね青く澄みきった空を眺め小春日和の穏やかな風を受けながら演武を振り返り反省点を点検中 偶然に宗家が通り掛かり、暫し居合談義・・・。

日も傾き 日陰には冷たい風が吹き始めた頃、突然静寂な杜に銃声が轟き、白煙があたりに広がった。

演武最終の森重流砲術（東京）の大会を締めくくる祝砲となって耳に心地良く響いた。

三宅さん、早朝よりの撮影又私の送り迎えまで、本当にお疲れ様 又ご苦労様でした。 22、11吉日 元喜



開会式

